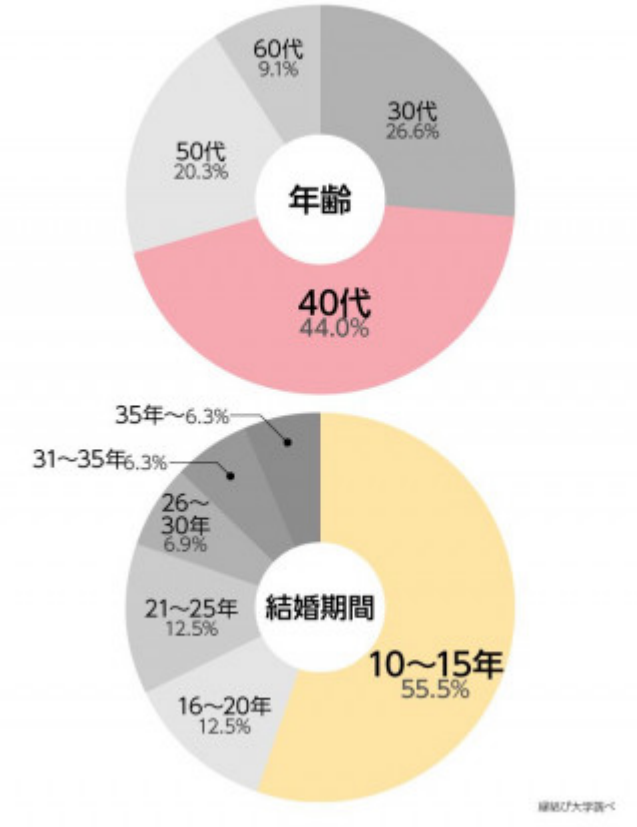
1月31日は愛妻の日！既婚男性に聞いた、妻の「10年経っても好きなところ」とは



１月３１日の「愛妻の日」は、２００６年に日本愛妻家協会が「妻というもっとも身近な赤の他人を大切にする人が増えると、世界はもう少し豊かで平和になるかもしれない」という理想の元に、１（i=あい）３１（さい）という語呂合わせで制定した記念日です。

株式会社ネクストレベル（本社所在地：神奈川県横浜市、代表取締役：田中大洋）が運営する『縁結び大学』（https://jsbs2012.jp/date/
）ではこの「愛妻の日」を前に、結婚１０年以上経過した既婚男性１４４人に、「妻の好きなところ」や「直してもらいたいところ」などについて調査を行いました。

子どもの有無や結婚形態（恋愛orお見合い）の違いなど、長年連れ添っている夫婦の夫側から見た実感値を紹介します。

調査対象は平均４５．５歳の既婚男性、結婚期間は平均１７．２年

回答を寄せてくれた調査対象者は、平均年齢４５．５歳の既婚男性です。年齢のボリュームゾーンは、４０代が４４％となっています。職場でも家庭でも働き盛りの年頃ですね。また妻との結婚期間は、平均１７．２年です。結婚期間のボリュームゾーンは、１０年以上１５年未満が５５．５％と半数以上を占めています。

妻と出会った年齢は平均２４．７歳、恋愛結婚が９１．７％

妻とは２１歳～２５歳の間に出会った人が、３２．６％と最も多くなっています。学生時代や仕事を始めて間もない頃に出会った人と結婚したパターンが多いようです。このことは、９１．７％が恋愛結婚であることからも伺えます。

また、妻との交際期間のボリュームゾーンは１～２年が２９．２％でした。交際して３年以内に結婚している人が６７．４％と多数派です。妻との間に実子がいる割合は８３．３％で、８割以上の人が“妻のため子どものために日々頑張っているお父さん”という印象です。

調査対象のイメージが掴めたところで、彼らが答えた妻の「１０年経っても好きなところ」とは、一体どんな部分なのでしょうか？

妻の「１０年経っても好きなところ」第１位は、「明るい・前向きな性格」

今でも妻に対して「好きだな」「いいな」と思っているところを全て選んでもらった数値です。最も多かったのは「明るい・前向き」で４５．１％でした。

この他に３５％以上だったのは「しっかり者」（４０．３％）、「料理が上手」（３８．９％）、「話が合う」（３７．５％）、「一緒にいて楽しい」（３６．１％）でした。３０％以上では、「子どもを大切にする」（３４．７％）、「顔がきれい・可愛い」（３４．０％）がランクインしています。

逆に１０％以下だったのは「知性的・ものしり」（９．７％）、「稼いでくれる」（５．６％）でした。

これらの数値から、結婚１０年以上経った男性は、妻に知性や経済的な一面よりは、癒やしや精神の安定、家庭運営の上での信頼などを求めているということが感じ取れます。

■ 詳しく聞いてみた！具体的な妻の「好きなところ」とは？

妻を「好きだ」と感じているのは、具体的にどんなところなのか、詳しく教えてもらいました。

【明るい・前向き】
●いつも明るく、家事をする時に自作の歌でモチベーションを上げてみたり、楽しみながら物事を進めていける自分にはなく羨ましい部分だから。（結婚１２年目／愛媛県／３９歳／子あり）
●気分に左右される事なく優しくて穏やかです。フルタイムで働きながら料理を含めた家事全般もソツなくこなしてくれますし、こちらの親戚とのお付き合いも抜群に上手です。（結婚１２年目／愛知県／３６歳／子なし）

【しっかり者】
●とても向上心があり、仕事や趣味に一生懸命でしっかりしているので、人として尊敬できる。（結婚１２年目／群馬県／４２歳／子あり）

●家庭内の事をしっかりやってくれる。自分が苦手な分野を補ってくれ、自分が仕事に集中できるようにサポートをしてくれる。（結婚１０年目／大分県／３０歳／子あり）

【料理が上手】
●実際に外で食べるより妻の作った料理の方が美味しいと思うので、コロナ禍で外食にあまり行けなくても苦痛を感じません。（結婚１１年目／静岡県／５１歳／子あり）
●いつも前向きで、笑顔でいてくれるので、何事があっても楽しくいられるのが良いですね。料理は世界一美味いです！（結婚１４年目／宮城県／４１歳／子あり）

【話が合う】
●フィーリングが合うので、一緒にいて疲れない。
妻は酸素のようなモノで、無くてはならない存在です。（結婚１１年目／東京都／３５歳／子あり）
●趣味から社会情勢まで自分と話や意見があって、相談に真摯に向き合ってくれるからです。（結婚１０年目／神奈川県／４４歳／子なし）

【一緒にいて楽しい】
●どこが好きかと聞かれたら、まっさきに思い浮かぶのが一緒に居て楽しいことです。これは恋人の時からずっと変わりません。自分は人を笑わせるのが好きなのですが、くだらない事でも妻はよく笑ってくれます。それがいつもうれしいです。年をとっても今のようにありたいと思います。だからずっと妻が好きです。（結婚１２年目／栃木県／４１歳／子あり）
●簡単に言うと一緒にいる事に対しての負担がないところが好き。長く一緒にいるがそこの部分は最初から変わらない。（結婚１１年目／神奈川県／４２歳／子あり）

どのコメントも、妻への感謝と愛情が感じられますね。これだけ夫に褒め称えられる妻は一体どんなに素晴らしい女性なのか、興味が湧いてきます。

「今も妻を愛している」割合は、“子どもあり”か“子どもなし”で数値に差

「ずばり、今も妻を愛していますか？」という質問を投げかけてみた結果、子どもがいるかいないかによって、回答に少し差が見受けられました。

“子どもあり”では、「愛している」が７３．３％と最も多かったものの、「家族としての愛情はある」が２４．２％と約４人に１人となっています。「いいえ」「わからない」は２．５％とわずかでしたが、回答として存在していました。“子どもなし”では、「愛している」が８３％と圧倒的です。それ以外も「家族としての愛情はある」が１７％で、「いいえ」や「わからない」という回答はありませんでした。

この数値からは、子どもの有無が結婚１０年以上経った夫婦の関係に、少なからず影響を及ぼしていることが分かります。子どもにとっての父と母という役割を果たしていく中で、男女の愛情というよりは、家族としての情が強くなる人もいるようです。

とはいえ、「愛している」割合の高さには、驚く人もいるのではないでしょうか。この数値から

は、調査対象者の大多数が、家庭や妻に対して満足しているということが分かります。

「今も妻を愛している」割合は、“恋愛結婚”か”お見合い結婚（婚活）”かで大きな違いはない

「今も妻を愛しているか」の問いに対し「はい」と回答した人は、“恋愛結婚”で７５．８％、”お見合い（婚活）結婚”で６６．７％とその差わずか９．１％でした。「家族としての愛情はある」という回答も含めると、その差は６．８％まで縮まります。

恋愛結婚のほうが、愛し合って結婚した分愛情が深そうなイメージがありますが、お見合いや婚活で結婚した場合でも夫から妻への愛情は長く続くことが分かりました。

妻に「コレだけは直してもらいたい」のは“体型”

妻への深い愛情や絶対的な信頼を多くのコメントで見てきましたが、逆に「コレだけは直してもらいたい」ということがないかも、調査してみました。結果、最も多かったのは「体形が崩れた」で１８．８％です。これは“妻にはいつまでもきれいでいて欲しい”という男性の願望の表れかもしれませんね。

「文句が多い」（１６．７％）、「優しくない」（８．３％）、「子どもに厳しい」（８．３％）は、結婚当初は優しかった妻が、そうではなくなったと感じている人が多いことを示します。その他に目立ったのは、「やりくりが下手」（１３．２％）、「浪費ぐせ」（１０．４％）といったお金にまつわる項目です。「ねぎらいがない」（１１．１％）も夫自身の収入への感謝と捉えると、金銭関係と関連しています。

「家の中が汚い」（１２．５％）、「料理が下手」（６．３％）、「家事が下手」（６．３％）は、妻にもっと家事をやってほしいという要望です。回答では、夫が家事を主に担当していて、もう少し妻にもやってもらいたいというコメントもありました。家事の分担比率は、夫婦によってさまざまですが、“パートナーにももっと家事をやってほしい”というのは、夫婦双方ともに抱える不満かも知れません。

■ 詳しく聞いてみた！妻に「直してもらいたいところ」とは？

１０年以上連れ添っている妻に直してもらいたいところを、具体的に教えてもらいました。

【体形が崩れた】
●結婚した当初から30キロくらい太っており、それはそれでいいが健康のために痩せてほしい（結婚２４年目／兵庫県／５１歳／子あり）
●出会ったときよりも確実に体型が変わっている。本人は「旦那がいるし、結婚しちゃえば自然体型でよいでしょ」とある種の開き直りをみせる。少しは気にしているようだか、もう少し気にした方がよい。（結婚１０年目／千葉県／４６歳／子なし）

【文句が多い】
●話をすると文句ばかり言って来て、
気がやすまらないので、少しは優しい言葉が欲しい。（結婚２０年目／静岡県／４９歳／子あり）
●愚痴が多いです。私の意見に耳を傾けず、私の話に否定から入ります。食事なども私の話には

耳を傾けてくれないので、話を聞く等をして欲しいです。（結婚２０年目／愛知県／５７歳／子あり）

【やりくりが下手】【浪費ぐせ】
●ストレスが溜まると買い物したくなる癖がある。少なくとも年間10万円以上必要のないものを購入する。（結婚１５年目／福岡県／５５歳／子なし）
●お金はきちんと管理してくれているが、節約するための勉強はしてくれない。保険や投資の事を勉強して欲しいが、嫌がられる。（結婚１１年目／岡山県／３５歳／子あり）

「直してもらいたいところ」と挙げているコメントでも、その言葉尻に妻への遠慮や配慮があるものが多くありました。これらのコメントは、夫側からすると「そうそう！」と膝を叩きたくなるものも多いのではないでしょうか？
また、妻側からすると「あ、これってまさしく私かも……」と心当たりがある人もいれば、「これってうちの夫にそのまま返したい言葉じゃない！」と言い換えしたくなる人もいるかと思います。

結婚に夢を持っている独身者からすると、結婚への夢がやや遠のいてしまうかもしれませんね。

■ 「直してもらいたいところはない」と回答した人が６．３％も！

「直してもらいたいところ」を選ぶ設問で、「妻に直してもらいたいところはない」と答えた人がなんと６．３％もいました。その中から具体的なコメントを紹介します。

●直してもらいたいところはないです。文句ないぐらいにいい人すぎて、逆に僕には勿体ないぐらいです。（結婚１３年目／大阪府／３１歳／子あり）
●特に直してもらいたいところは有りませんが、あえて言えば、昔は素敵だった笑顔が最近少なくなった様に思うので、昔を思い出し笑顔を見せて欲しいと思います。（結婚３４年目／群馬県／５５歳／子あり）
●直してもらいたいところはありません。たまには部屋が汚れている等はありますが、妻も疲れて家事が手薄になってしまう事は仕方がありません。そうした時は私が率先して手伝えば良いだけの事なので問題ありません。しっかりと主婦業をこなしてくれているので本当に感謝しかありません。（結婚１１年目／東京都／４１歳／子なし）

正直、妻に「直してもらいたいところがない」という回答がこれほどあるとは、驚きです。「昔は素敵だった笑顔をもっと見たい」というコメントは、ぜひ妻に直接伝えてもらいたいですね。裏を返せば、夫婦お互いの影なる努力と寛容によって、夫婦仲が保たれているのかもしれません。

「妻は今も自分を愛してくれていると思う」は、“子どもあり”が６１．７％、“子どもなし”が７５％

夫からの愛情の大きさが分かったところで、「妻は今も自分を愛してくれていると思うか？」と

いう質問もしてみました。その結果、子どもがいる夫婦では６１．７％の人が「はい（愛してくれていると思う）」と回答しています。子どもがいない夫婦では７５％なので、ここでも子どもの有無が妻からの愛情の実感に影響していることが分かります。

また「いいえ（愛してくれていないと思う）」という回答は、“子どもあり”では８．３％、“子どもなし”では一人もいませんでした。
「妻の本当の気持ちは分からない」という人は、“子どもあり”が３０％、“子どもなし”が２５％でした。

「妻は今も自分を愛してくれている」は、“恋愛結婚”か”お見合い（婚活）”かでも数値に違いあり

「妻は今も自分を愛してくれていると思うか？」の問いに対し「はい」と回答した人で、“恋愛結婚”は６５．９％、”お見合い（婚活）結婚”は４２．０％でした。なんとその差は２３．９％。また「分からない」という回答に関しても、“恋愛結婚”が２８．０％に対し、”お見合い（婚活）結婚”は４１．７％と、１３．７％もの違いがありました。

このことから、お見合いや婚活で知り合って結婚した夫は、妻からの愛情を感じ取りにくくなっていることが分かります。恋愛結婚と違い、愛し合った記憶がない（または期間が短い）ことが、自信のなさに繋がっているのかも知れません。

■ 妻の愛情、実際にはどう感じている？

妻は自分のことを愛してくれているかどうか？それぞれの回答の理由を、詳しく教えてもらいました。

【愛してくれていると思う】
●毎日会話をしていてコミュニケーションはしっかり取れている。週末は一緒にドライブにいけているため。（結婚３５年目／沖縄県／６５歳／子あり）
●結婚記念日や誕生日など、イベントごとがあるたびに、何かしらのプレゼントや豪華な料理を準備してくれます。（結婚１０年目／兵庫県／３６歳／子あり）
●愚痴は多く、口喧嘩もありますが、私の体調を気遣ってくれます。私の苦手な服などをコーディネートしてくれたり買ってくれます。（結婚２０年目／愛知県／５７歳／子あり）
●コロナ禍の影響で給料が激減。でも嫌な顔せずに態度にも表さず、いつも優しい。（結婚１１年目／東京都／３５歳／子あり）
●日常の彼女の態度から、私はそう思っています。女性は愛されないと、その相手を愛することができないと思いますので、私は彼女に対して、愛していることを表現するように努力しています。（結婚４２年目／北海道／６５歳／子あり）

【愛してくれていないと思う】
●携帯を買い換える際に、気に入った機種には位置情報アプリが入ってない機種で妻にこれにしていいか確認したところ、すんなりOKが出て一言「興味ないから」と言われた。（結婚１０年目／大阪府／４８歳／子あり）
●本人が「もう愛していない」と宣言しているので、その通りだと思う。（結婚３１年目／千葉県／５６歳／子あり）
●稼ぎが少ない、なにもしない、邪魔と平気で言い、いっつもひどく怒った表情をする。（結婚

２７年目／北海道／５４歳／子あり）

【分からない】
●仕事、子育てでいっぱいいっぱいな感じがあるため。僕への愛情表現がないため。しかし、それでも僕は妻を支え続けようと思っています。（結婚１１年目／三重県／３５歳／子あり）
●具体的に返答とかはないので分かりませんが、愛してくれていると願っています。（結婚１０年目／愛媛県／３０歳／子あり）
●出会った頃からいままで、気持ちの移り変わりがお互いにあるなかで、そうであってもそうでなくても一緒にやって来たことと、今も一緒にいることが重要。はっきり自信を持つために愛情を確かめるのもなんか違うかなと思っています。（結婚１２年目／岐阜県／３８歳／子あり）

「愛してくれていると思う」理由としては、妻の言葉だけでなく日々の態度や甲斐甲斐しく世話をしてくれる様子から、そう感じている人が多いことが分かります。

「愛してくれていないと思う」理由としては、辛らつな言葉や態度など、はっきりとした妻からの拒否反応があるようです。

「分からない」という回答の理由は、長年連れ添って日々生活している中で、お互いに“愛情”と言える感情を確かめる機会がないといったことが大きいようです。ただし「わからない」というコメントには、「自分は愛している」と付け加えている人が複数いました。

まとめ｜「愛妻の日」は花束を片手に、妻への愛情を示そう
結婚１０年以上の既婚男性の妻への本音は、いかがでしたか？

自身が回答者と同じ立場なら、うなずくところもあれば、自分の夫婦関係と比べてその温度差におののいた人もいるかもしれません。また、妻としてこの数値やコメントを見た人は、女性側から見た景色とかなり違っていると感じる人もいるのではないでしょうか。夫が妻のどんなところに感謝や愛情を感じるのか、今後の夫婦関係への向き合い方に参考になるかもしれませんね。

「日本愛妻家協会」では、１月３１日の「愛妻の日」に妻へ花束をプレゼントすることを推奨しているようです。
愛情に満たされた夫婦関係を築いている人も、妻への愛情表現をすっかり忘れているという人も、今年の「愛妻の日」には、寒空に咲く花束を抱えて、家路を急いでみてはいかがでしょうか？

【調査概要】
調査方法：インターネットアンケート
アンケート母数：計164名
実施日または時期：2020年01月12日 ~2021年01月14日
調査実施主体：縁結び大学（https://jsbs2012.jp/date/）
調査会社：株式会社ネクストレベル

■縁結び大学はこんなメディアです■

【運営会社】
株式会社ネクストレベル

https://next-level.biz/
横浜・福岡にてWebメディア運営とシステム開発事業を展開。
『最新のマーケティング技術を用いて社会発展を目指す』をミッションとし、2008年の設立より婚活関連のマーケティングを始め、常に最新のマーケティングを取り入れ、多くの情報を発信。

【運営メディア】
マッチングアプリ大学
https://jsbs2012.jp/
派遣BOOK
https://jobseek.ne.jp/
脱毛ピース
https://arts-center.gr.jp/

【関連記事】
まずは「相手探しから・・」という方にオススメのページ

◎結婚相手と出会える婚活アプリランキング：
https://jsbs2012.jp/marriage/knowhow/konkatu_rank.html
◎恋愛できる相手を探せるマッチングアプリ：
https://jsbs2012.jp/matchingapp/detail/matchingapp_means.html

---

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com